

つながろうこの町で

飯岡海岸にある海岸護岸の竣工碑。

津波にのまれながらも、壊れることなく力強く立っているこのアーチ型のモニユメントの上には、石を積む2人の少年の像がある。

長年、海岸の侵食に苦しめられていた飯岡地域の人々。昭和の初期、大人たちの海との戦いを見てきた2人の少年が、海岸に石を積んで侵食を防ぐことを思い立ち、毎日海岸に打ち寄せられた飯岡石を一つずつ積み上げていった。やがてその行動が全校生徒に広まり、学校ぐるみの運動になる。そして「我らの波止」という小高い石の山を築いた。子どもたちの行動と地域の熱意がやがて国をも動かしていった――。

記念碑には、そんなエピソードがつづられている。

一つの小さな力が人々を動かし、そして町を救った。

幾度となく繰り返されてきた、海との闘い。そのたびに立ち上がり、共存を望んだ先人たち。私たちは今、再び自然の猛威にさらされ、そして立ち上がろうとしている。

つながろうこの町で

伝えよう子どもたちの笑顔のために――。

○写真提供(敬称略)

遠藤脩一
尾形信男
佐久間作衛
早川正晃
渡辺博文
海上自衛隊館山航空基地隊
旭市社会福祉協議会